

こうとう地域チームケア研究会 たよい

令和3年9月30日発行

つながろう 話そう
ウェブ de 研究会

第51回 こうとう地域チームケア研究会を開催しました

◆開催日時: 令和3年9月9日(木) 18:30~20:30

◆参加者: 56名(医療関係 29名、福祉関係 9名、行政・その他 18名)



今回はオンラインのみでの実施となりました。

お薬について

ねらい

- ①お薬に関する知識や、薬剤師会の活動に理解を深め、今後の服薬支援やお薬手帳の活用に役立てよう。
- ②薬剤師や多職種との交流を通して、相互理解を深め、日々の支援でつながり合える関係性をつくっていこう。

[話題提供]

お薬のこと、お薬手帳のこと、知っていますか？

彦根薬剤師会
池田富美子さん
(リリー薬局)



特にコロナワクチン接種時にも必ず持参して、提示してください！



紙のお薬手帳のほかに、スマートフォンのアプリで管理出来る「電子お薬手帳」もあります。



Harmo
*電子お薬手帳
「ハルモ」

はじめています！

薬局とケアマネジャーとの連携の取組
ケアマネジャーさんが介護保険利用の方のお薬手帳を確認して、事業所の連絡先を記したシールを貼る取組をしています。情報を共有し、お互いが連絡しやすい環境づくりを進めています。

**もっと活用しよう！
おくすり手帳**

出掛ける時は忘れずに!!

病院や診療所、歯科医院、薬局に行く時は、毎回忘れずに持って行きましょう。

おくすり手帳は、あなたのお薬の記録ですので、とても大切です。

外出時はお財布と一緒におくすり手帳を持ち歩こう!

お薬についてわからないこと、困ったことなどがある場合は薬剤師に質問しましょう。

一冊にまとめましょう。

電子おくすり手帳 を利用してスマホで簡単管理!!

「ハルモ」は患者様、ご家族、医療従事者をつなぐ電子お薬手帳サービスです。

【電子お薬手帳は、薬局により異なります。ハルモは1例です】

『お薬手帳』を多職種の連携ツールとして使用したい！

いつも同じ薬でも、重要なのは

- ▷ いつから開始したのか
- ▷ どのくらいの期間服用しているのか
- ▷ 併用薬は？
- ▷ 他科受診は？

例1) 飲みにくいから 錠剤を割って飲んでいます

例2) サプリメントで○○をのんでいます

例3) 市販の頭痛薬を常用している

例4) 市販の風邪薬を飲みたいが…

・受診している医療機関や診療科が複数の場合

・いつも同じお薬でも貼る
・新しい冊子になったらしばらくは2冊持つ

☆医療職は必ず見てください

☆出来れば介護職のみなさんも見てください

- ・『ケアマネさんの連絡先、書いてないかな？』
- ・『訪看さんに連絡したいな』
- ・『薬剤師に伝えたい』
- ・『自己調整して良いお薬の目印はコレ！』
- ・『誰か、何か、気になる事あれば教えてください』



グループ交流会・全体会

7つのグループに分かれて意見交換を行い、その後、全体で情報を共有しました。

【お薬について聞きたい、知りたい、教えて！】 【こんなケースでも服薬支援してくれるの？】

- ◆「漢方薬の粉は飲みにくいのですが、飲み方で工夫できることはありますか？」
- ◆「居宅療養管理指導の導入について相談したい」
- ◆「サプリとお薬の飲み合わせについて知りたい」
- ◆「残薬の調整はどうしていくといい？」
- ◆「歯科で出す鎮痛剤・抗生素の飲み合わせで気を付けることは？」
- ◆「デイサービスでの薬の管理について、いつもらったかどうかわからない薬、そんな時どうしたらいい？」
- ◆「多剤処方や認知症の方がきちんと服薬できているか心配」
- ◆「口腔内に粉薬が残っていたり舌下に錠剤があつたりする。どんな方法で飲むといい？」
- ◆「認知症で食欲不振、不安症状がある方が薬が飲めなくて困っています。入所施設ですが薬剤師と連携できる方法はありますか？」
- ◆「飲み忘れに対しての対応方法は？」

多職種から、お薬についてのたくさんのギモンや質問、日頃思っていることを出していただき、薬剤師の皆さんからアドバイスをいただけました。薬剤師さんと一緒に考えることで、新たな知識を得ながら、支援の工夫、明日からの実践で活かせるヒントや重要なポイント等に気づくこともできました。

【薬手帳の活用法、コレどう？】

- ◆「薬手帳にケアマネジャーの連絡先があることで連絡しやすくなる。このツールを使ってもらえると良い。」
- ◆「利用者の緊急連絡先も本人が書き込めるといい。その人自身のできることの見極めもできる。」
- ◆「(薬剤師)薬局で渡した薬が自宅でどのように管理されているのか(管理方法)や、服薬ができているかが心配な人もいる。薬手帳の連絡先を見てケアマネジャーさんに確認していけるとよい。」
- ◆「(歯科医師)歯科治療に影響のある薬を飲んでいるかどうか、患者さんに聞いても分からぬことがある。お薬手帳を確認すると、調剤している薬局や処方医師も医師も分かるので助かる。」
- ◆「訪問先で患者のお薬手帳を見て、前回と比較し変化が無いか把握している。服薬内容を理解されていない人もいるので利用している薬局に相談することも多い」
- ◆「(ケアマネ)連携シールを用いることによって、利用者さんともお薬の話が出来ている」
- ◆「(薬剤師)薬手帳にワクチン接種済みシールが貼つていけるとよい。表拍子に貼ってもらえるとなおわかりやすい」
- ◆「(病院)お薬手帳では不定期な薬や注射薬などが分からぬ。⇒薬手帳にメモ出来たらよいのではないか。」

＜電子お薬手帳『ハルモ』について＞

- ◆薬局利用者の1割程度使用。スマホでダウンロードできて利便性がある。
- ◆メモ機能があり、お薬手帳のようにケアマネジャーの連絡先などの情報を入れることができる。
- ◆薬手帳はページが埋まるごとに交換し、増えていくが、電子お薬手帳はいくらでも情報が入り、一つにまとめやすい。
- ◆病院)現在は薬手帳をコピーして病院で記録している。アプリで情報が分かるのはいいが、アプリが広まった時、これまでのようなくらいにデータを移したらいいか。
- ⇒調剤元に連絡をすると情報を出してもらえる。病院にもハルモが導入されればiPadで確認できる。



☆紙の手帳も、電子版もどちらにも良さがあり、どちらも使ってもらえるとよいと思います。
☆「ハルモ」について詳しく知りたい方は、電子お薬手帳を導入している薬局にお問い合わせください。



工夫とアイデア次第でお薬手帳の活用は広がりそうです！
多職種の連携ツールの一つとして活用できるといいですね。



【知つ得情報】これ便利かも！！『ヤクチ工添付文書』アプリ(無料)

お薬に関する情報が掲載。「ジェネリックの薬を調べる時にも便利」との声も。



その他にも、それぞれの職種や現場から、薬剤師との連携や服薬支援の状況、思いなどについて意見交換をしていただくことができました。

- ◆(病院)以前に比べると薬局の薬剤師と病院との連携ができてきていると感じている。
重複している薬にも気づいてもらえて助かっている。
- ◆(ケアマネ)オンラインでのカンファレンスも開かれるようになり、薬剤師さんが参加してもらいやすくなつた。今後も参加してもらいたい。
- ◆薬剤師に限らず、一人の患者さんを見るのに、多職種での連携は大切だと痛感した。
- ◆診療所ではお薬手帳を活用している。たくさんのお薬を服用されている患者さんのために、お薬を減らしていく方向で世の中動いているが、減って喜ぶ患者もいれば不安になる患者もいる。
- ◆院外処方の場合、多科にかかっているとそれぞれの医療機関の近くの薬局を利用することが多い。できれば、いろんな薬局に行くのではなく、どこかに決めて利用してただけるとよい。重複処方も防げるのではないかと思う。
- ◆お薬手帳を見るだけではわからないこともある。処方された薬を実際は飲んでいない場合もある。最終的にはきちんと飲んでいるかを確認して状況を把握する必要がある。
- ◆(ケアマネ)飲み合わせについて、通販でいろいろなサプリを購入されている方もいて、お薬だけでなくサプリも含めた服薬管理をどうしたらいいかと思う。このような情報を誰が何処につなげていくとよいのか。ケママネとしてお薬手帳を通じて、サプリの情報も多職種に伝えていけるとよいのでしょうか。
- ◆多職種間での情報交換も大切だが、一般の方への周知も必要。



<薬剤師会より>

『薬剤師会では、地域自治会からの要望があり、お薬に関するチラシを作成し、情報発信をしています。

住民の皆さんへの啓発活動など、薬剤師ができること、ご要望があれば協力していくたいと思います。』



もっと活用しよう!
おくすり手帳

病院や診療所、歯科医院、薬局に行く時は、毎回忘れずに持って行きましょう。

おくすり手帳は、あなたのお薬の記録ですの、とても大切です。

病院や診療所、薬局の名前などを書いてお薬手帳を持たれたら、おくすり手帳と一緒に保管してください。

薬局等で薬用医薬品(OTC医薬品・大薬事・種類医薬品)を買った場合はも記録しておきましょう。

思いがけない、良くない結果がでる時へ合わせて持つことがあります。

外出時はお財布と一緒におくすり手帳を持ち歩こう!

外出先で、体の調子や状況があつたとき、おくすり手帳を持っていることで医療機関へ、あなたが何人いるかを正確に伝えたり、何を飲んでいたかなど、必要な情報を受けやすくなります。

受診証明や連絡状を手帳と一緒に置いておくと安心です。

ご家族にも、あなたがおくすり手帳を持っていることを知りせておきましょう。

お薬についてわからないこと、困ったことなどがある場合は薬剤師に質問しましょう。

一冊にまとめましょう。

飲んでいるすべての薬を(一冊で)記録することができます。

毎回ご家族と一緒に、別々のおくすり手帳を持ち歩くよりは、

電子おくすり手帳 を利用してスマホで簡単管理!!

「ハルモ」は患者様、ご家族、医療従事者をつなぐ電子お薬手帳サービスです。

電子お薬手帳は、専用にご利用ください。ハルモは(社)彦根薬剤師会



『いろいろ意見をいただき薬剤師会でも共有して意見にお応えできるように頑張りたいと思います。薬局は気軽なところです。薬のことなら薬局に相談を! (午後の方が比較的時間に余裕があります)』

彦根薬剤師会
正田州宏会長



世話人会代表
松木明先生

『勉強になりました。お薬のことで困った時は薬剤師さんにいつも相談しています。

これから医者も薬剤師も、地域に根差したかかりつけ医、かかりつけ薬局となって、地域をより掘り起こしていくかないといけないと思います。薬で分からぬことがあったら、とりあえず薬剤師に聞いてみる、ということで、これからもよろしくお願ひします。』

アンケートにご協力いただきありがとうございました



第 51 回参加者アンケートより



こんなことしました

1. 話題提供「お薬のこと、お薬手帳のこと、知っていますか？」はいかがでしたか。（感想や印象に残ったこと等）

- ・「ヤクチ工」アプリで薬の検索できること。（管理栄養士）
- ・いつから服薬しているか、聞き取れていなかったので意識していきたい。（主任介護支援専門員）
- ・電子手帳が病院で困るなんて、思ってもなくて、知れて良かったです。（調剤薬局 薬剤師）
- ・電子お薬手帳についてほとんどしらなかったので、参考になりました。（介護支援専門員）
- ・電子お薬手帳について初めて聞きましたがとても参考になりました。「ヤクチ工」も利用してみたいと思いました。（介護支援専門員）
- ・薬剤師の立場でお薬手帳やお薬の粉碎の是非について話されました。スマホ管理の電子お薬手帳についてはこれからどんどん活用されるといいですね。（薬剤師）

2. グループ交流会はいかがでしたか。（感想・印象に残った話題・もう少し話したかった事等）

- ・現場で困っていることが聞けてよかったです。（看護師）
- ・薬手帳が更新されると、以前に飲んでいた薬がわからなくなることがある。（主任介護支援専門員）
- ・それぞれの立場からの意見を聞けて、参考になりました。（調剤薬局 薬剤師）
- ・お薬手帳の電子化が進んで来たときの課題について。（介護支援専門員）
- ・お薬手帳ハルモを他職種の方がどのように使っているのか知れてよかったです。（薬剤師）
- ・要支援者 1・2 の方のケアプランを多職種で検討している会議に薬剤師の方の視点の重要性を伝えていければと思います。（保健師）

3. 本日の研究会全体についてご意見・ご感想などありましたらお聞かせください

- ・現場で知りたいことが聞けてよかったです。（看護師）
- ・他の職種の意見を聞けて、普段知り得ないことなので、とても良かった。（調剤薬局 薬剤師）
- ・仕事だけでなく、私自身も薬手帳を活用していかなくてはと感じました。（介護支援専門員）
- ・当市でも在宅医療介護連携に係る事業を委託し実施していますが多職種向けの交流会や研修会の企画にとても参考になりました。（保健師）

＜次回のことう地域チームケア研究会＞

テーマ：「看取りについて」

(担当世話人団体:彦根愛知犬上介護保険事業者協議会・訪問看護ステーション連絡協議会第 5 地区支部)

日 時：11月 11日（木）18：30～20：30

*Web(ZOOM 使用)参加と会場参加のハイブリッド形式で行います。(会場参加は人数制限があります)

*事前申し込みが必要です。参加方法など、詳しくはホームページ「在宅医療福祉情報の森」でご案内いたします。

11月 11日は
『介護の日』



ホームページ「在宅医療福祉情報の森」で研究会の情報をご覧いただけます。

【研究会に関するお問い合わせ：ことう地域チームケア研究会事務局】

- ◆一般社団法人彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455 E-mail:info@gen-ai-ken-kaigo.jp)
- ◆彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)